

問1 江戸時代後期の19世紀、日本橋を出発点とする街道の宿場町を鮮やかに描き、庶民の旅への憧れをかき立てた風景画のシリーズ『東海道五十三次』。この作品を描いた、安藤広重の名でも知られる浮世絵師は誰か。（2021年 北海道公立入試 類似）

1. 歌川広重 2. 菱川師宣 3. 雪舟 4. 黒田清輝

問2 江戸幕府が1643年に「田畑永代売買禁止令」を出した主な目的として、最も適切なものはどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）

1. 百姓が土地を失って没落するのを防ぎ、幕府の財政基盤である年貢を安定して確保するため 2. 商人に土地を買い取らせて大規模な新田開発を進め、米の生産量を飛躍的に増やすため 3. 武士が土地を買い占めることを防ぎ、幕府による全国の土地管理を容易にするため 4. 年貢を米ではなく現金で納める制度に切り替える準備として、土地の価格を固定するため

問3 1789年に発表された「フランス人権宣言（人権宣言）」の説明として、その内容や背景を正しく述べているものはどれですか。（2020年 佐賀公立入試 類似）

1. イギリスの公職に就く者を国教徒に限定することを定めた。 2. 主権は国民にあり、私有財産は侵すことのできない権利であるとされた。 3. リンカーン大統領が「人民の、人民による、人民のための政治」を訴えた。 4. 植民地であったアメリカが、イギリスからの独立を求めて発表した。

問4 江戸時代の社会において、農民たちが年貢の減免などを求めて団結した際に作成された「傘連判状」の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。（2016年 奈良公立入試 類似）

1. 署名が円形に配置されており、参加者全員が対等な立場であることを示している。 2. 五人組の制度に基づき、村役人の許可を得た正式な抗議文であることを示している。 3. 領主への忠誠を誓う誓約書であり、身分の高い順に中心から外側へ署名されている。 4. キリスト教徒ではないことを証明するために、寺院の住職を筆頭に署名されている。

問5 江戸時代に発明された、多数の鉄の歯が並んだ台に稲穂を通すことで粃を落とす農具があります。それまでの作業時間を大幅に短縮し、脱穀の効率を飛躍的に高めたこの道具の名称として正しいものを選びなさい。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 千歯こき 2. 備中ぐわ 3. 唐箕 4. 万石通し

問6 日本の歴史における政治体制の変遷について述べた文として、人物が登場した順序が古いものから新しいものへ正しく並んでいるものはどれですか。なお、それぞれの人物は「律令国家の基礎を固めた人物」、「院政を開始した人物」、「幕府を倒そうと承久の乱を起こした人物」、「参勤交代を制度化した人物」を指します。（2016年 山形県公立入試 類似）

1. 天武天皇 → 白河天皇 → 後鳥羽上皇 → 徳川家光 2. 白河天皇 → 天武天皇 → 後鳥羽上皇 → 徳川家光 3. 天武天皇 → 後鳥羽上皇 → 白河天皇 → 徳川家光 4. 白河天皇 → 後鳥羽上皇 → 天武天皇 → 徳川家光

問7 江戸時代の対外関係において、長崎でのオランダ・中国との貿易以外にも複数の窓口が存在していました。当時の那覇港を描いた資料には、多くの船が停泊し活気ある港町が形成されている様子が見られますが、この港を通じて中国との貿易を行っていた地域と、その関係の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2026年 山形公立入試 類似）

1. 琉球王国であり、薩摩藩の支配を受けながら中国とも朝貢関係を維持していた 2. 蝦夷地であり、松前藩がアイヌの人々と交易を行うための拠点であった 3. 対馬であり、対馬藩の宗氏が朝鮮王朝との間で外交や貿易を仲介していた 4. 堺であり、自治都市としてポルトガルやスペインとの南蛮貿易を継続していた

問8 江戸時代後半、幕府の命令を受けて日本全国の沿岸部を実際に歩いて測量し、西洋の科学的な手法を取り入れることで、当時の世界水準に匹敵する極めて精巧な日本地図を完成させた人物は誰ですか。（2022年 徳島公立入試 類似）

1. 伊能忠敬 2. 間宮林蔵 3. 杉田玄白 4. 本居宣長

問9 江戸時代中期に杉田玄白や前野良沢らが、オランダ語の医学書である『ターヘル・アナトミア』を翻訳して出版しました。日本における本格的な西洋医学の導入の先駆けとなった、この書物の名称として正しいものを選びなさい。（2020年 岐阜公立入試 類似）

1. 解体新書 2. 古事記伝 3. 日本永代蔵 4. 蘭学事始

答え合わせ・解説

問1	答え 1 歌川広重	江戸時代後半の化政文化を代表する浮世絵師です。それまでの浮世絵は美人群像や役者絵が主流でしたが、各地の名所を主役とした「風景画」という新しいジャンルを確立しました。その叙情的な作風は、後にゴッホをはじめとするヨーロッパの印象派の画家たちにも大きな影響を与えました。
問2	答え 1 百姓が土地を失って没落するのを防ぎ、幕府の財政基盤である年貢を安定して確保するため	江戸幕府の財政は、百姓が納める米（年貢）に大きく依存していました。もし百姓が生活に困窮して土地を売却してしまうと、納税の主体である「本百姓」が減少し、幕府の収入が不安定になります。これを防ぐために土地の売買を禁止し、小規模な農家を維持・保護することで、長期間にわたって安定した税収を得ようとしてきました。
問3	答え 2 主権は国民にあり、私有財産は侵すことのできない権利であるとした。	人権宣言では、主権が国民にあること（国民主権）や、個人の所有する財産を奪われないこと（私有財産の不可侵）が明記されました。これらは絶対王政による支配を否定し、市民が主体となる近代社会を築くための柱となりました。他の選択肢は、イギリスの審査法、リンカーンのゲティスバーグ演説、アメリカの独立宣言に関する内容です。
問4	答え 1 署名が円形に配置されており、参加者全員が対等な立場であることを示している。	傘連判状は、署名が円状に並ぶ様子が傘の骨のように見えることからその名がつけました。首謀者を隠すという実利的な目的のほかに、参加者の中に上下関係がなく、全員が心を一にして一揆に臨むという「一味神水（いちみしんすい）」の思想に基づく平等な団結を象徴する形式でもありました。
問5	答え 1 千歯こき	江戸時代中期の元禄期以降、農業技術の進歩に伴い、生産性を向上させる新しい農具が普及しました。千歯こきは、それまで行われていた「こき橋」という道具に代わる画期的な脱穀用具であり、その能率の高さから作業を奪われた寡婦（後家）が困るという意味で「後家倒し」とも呼ばれました。これにより農作業の効率化が進み、余った時間を商品作物の栽培などに充てることが可能になりました。
問6	答え 1 天武天皇 → 白河天皇 → 後鳥羽上皇 → 徳川家光	天武天皇は7世紀後半（飛鳥時代）に壬申の乱を経て即位し、律令国家の形成を推進しました。白河天皇は11世紀後半（平安時代末期）に譲位した後も上皇として実権を握る院政を始め、摂関政治から政治の実権を取り戻しました。後鳥羽上皇は13世紀前半（鎌倉時代）に幕府から権力を取り戻そうとして承久の乱を起こしました。徳川家光は17世紀（江戸時代）に第3代将軍として参勤交代を制度化し、幕藩体制を盤石なものにしました。これらは古代から近世へと至る日本の政治史の大きな流れを示しています。
問7	答え 1 琉球王国であり、薩摩藩の支配を受けながら中国とも朝貢関係を維持していた	江戸時代の日本には、長崎（対オランダ・中国）、対馬（対朝鮮）、松前（対アイヌ）、薩摩（対琉球）という「四つの口」と呼ばれる窓口がありました。琉球王国は薩摩藩の侵攻を受けその支配下に置かれたましたが、形式上は独立した王国として中国（清）との朝貢貿易を続けました。資料に描かれるような那覇港の活気は、中継貿易の拠点としての繁栄を示しています。
問8	答え 1 伊能忠敬	50歳を過ぎてから天文学や測量術を学んだこの人物は、1800年から約17年をかけて全国を測量しました。作成された「大日本沿海輿地全図」は、当時の幕府が国防上の理由から正確な海岸線を把握する必要があったために命じられたものです。選択肢の間宮林蔵は樺太（サハリン）が島であることを確認した人物、杉田玄白は『解体新書』を著した人物です。
問9	答え 1 解体新書	杉田玄白らは、処刑された罪人の解剖（腑分け）を実際に観察した際、手元にあったオランダ語の解剖図が人体の構造を正確に示していることに驚きました。それまでの伝統的な医学の知識を改めるべく、苦労を重ねて翻訳を完成させ、1774年に出版されました。これが日本の近代医学の発展に大きく寄与しました。